

◇進路指導方針◇

- 生徒、保護者の願いをもとに卒業後の人生を見据えたキャリアカウンセリング・進路相談を行い、能力と適性等に応じた進路決定を支援する。
- 保護者参加の進路行事を積極的に設定し、本人、保護者、労働・福祉・行政等の関係諸機関と連携し、情報共有の場を作りながら進路決定を図る。
- 専門教科の実習等を通じて技術の向上を図るとともに、職場実習、職場見学等の体験的な行事を通して、就労意欲や社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力の育成を図る。
- 総合デザイン科ヘア系および専攻科は理容師養成施設として理容師国家試験合格を目標としながら、生徒の希望や適性によっては一般企業等への就職にも対応できる指導を行う。
- 普通科は体験的な学習を通じて課題を明らかにし、それらの課題の解決を図りながらキャリア発達を促す。
- 積極的な進路情報の発信や職場開拓等により、就業先の確保と聴覚障害への理解を推進する。
- 卒業後(専攻科生は修了後)3年間程度の追指導(=アフターケア)期間を設け、円滑な社会移行・就労移行に努める。
- 本人の実態やキャリア発達の状況を把握しながら、組織的計画的で一貫性のある指導を行う。